

当院にて使用するCOVID-19経口治療薬

作用機序		一般名	販売名	適応疾患	用法用量	透析患者への投与 (白鷺病院 CKD患者 に関する薬剤情報より)	文献
胃酸分泌抑制	胃粘膜壁細胞のH2受容体を遮断	ファモチジン	ガスターD錠	胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群	<胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群> 通常、成人は1回1錠(主成分として20mg)を1日2回（朝食後、夕食後又は就寝前）に服用、又は1回2錠（40mg）を1日1回（就寝前）に服用。	透析後20mg、または1日1回10mg内服。	1) Freedberg DE, Conigliaro J, Wang TC, et al. Famotidine Use is Associated with Improved Clinical Outcomes in Hospitalized COVID-19 Patients: A Propensity Score Matched Retrospective Cohort Study. Gastroenterology 2020 ; 159(3):1129-31 2) Janowitz T, Gablenz E, Pattinson D, et al. Famotidine use and quantitative symptom tracking for COVID-19 in non-hospitalized patients: a case series. Gut 2020 ; doi.org/10.1136/gutjnl-2020-321852
酵素活性阻害 異常亢進抑制	生体のキニン生成系、線溶系、凝固系及び補体系に作用し、その酵素活性をすみやかに阻害し異常亢進抑制	カモスタットメシル酸塩	フオイパン錠	慢性膵炎における急性症状の緩解	通常600mgを3回に分けて経口投与。 症状により適宜増減。	尿中への活性代謝物の排泄率が低い為、減量の必要はないと思われる。	3) Zhou Y, et al. Protease inhibitors targeting coronavirus and filovirus entry. Antiviral Res. 2015 Apr;116:76-84.
ニルマトレルビル…抗ウイルス薬 リトナビル…抗HIV薬	【ニルマトレルビル】 ウイルスの増殖に必要な酵素であるSARS-CoV-2のメインプロテアーゼの作用を阻害  【リトナビル】 ニルマトレルビルの代謝（分解）を遅らせ、ウイルスに作用する濃度を長時間体内で維持	ニルマトレルビル／リトナビル	パキロビッドパック	SARS-CoV-2による感染症	発症から5日以内に、ニルマトレルビル300mg、リトナビル100mgを1日2回、5日間経口投与。(但し、年齢12歳以上且つ40kg以上を対象とする)  ※薬物相互作用多数の為注意を要する。	30≦eGFR<60を対象とし、ニルマトレルビル150mg、リトナビル100mg1日2回 (eGFR<30は非推奨)  ※白鷺病院薬剤情報には未記載	
抗SARS-CoV-2モノクローナル抗体	SARS-CoV-2に対する中和作用	ソトロビマブ（遺伝子組換え）	ゼビュディ		通常、成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児には、ソトロビマブ（遺伝子組換え）として500mgを単回点滴静注する。  SARS-CoV-2による感染症の症状発現から1週間程度までを目安に投与。	調整不要 ※白鷺病院薬剤情報には未記載	
抗ウイルス薬	ウイルスのRNA合成を阻害する直接作用	レムデシビル	バクルリー点滴静注用	SARS-CoV-2による肺炎を有する患者	通常、成人及び体重40kg以上の小児には、投与初日に200mgを、2日目以降は100mgを1日1回点滴静注。通常、体重3.5kg以上40kg未満の小児には、投与初日に5mg/kgを、投与2日目以降は2.5mg/kgを1日1回点滴静注。総投与期間は10日まで。	調整不要	
	活性本体であるNHC-TPがウイルス由来RNA依存性RNAポリメラーゼによりウイルスRNAに取り込まれ、ウイルスRNAの複製エラーが増加し、ウイルスの増殖を阻害	モルヌピラビルカプセル	ラゲブリオ	SARS-CoV-2による感染症の重症化リスク因子の保有者。 ※重症度の高い感染症患者に対する有効性は確立していない。	通常、18歳以上の患者には、モルヌピラビルとして1回800mgを1日2回、5日間経口投与。	調整不要 ※白鷺病院薬剤情報には未記載	
	インフルエンザウイルスのノイラミニダーゼ阻害	オセルタミビルリン酸塩	タミフル	A型又はB型インフルエンザウイルス感染症	<治療> 通常、成人及び体重37.5kg以上の小児にはオセルタミビルとして1回75mgを1日2回、5日間経口投与。 <予防> 通常、成人にはオセルタミビルとして1回75mgを1日1回、7～10日間経口投与。	<治療> 1回75mgを単回投与すると5日間有効治療濃度が維持。75mg服用5日後、症状が残ればさらに75mgを服用。	第102回 元気で長生き講座【2020年11月号】 <a href="https://www.jinnaika.com/archives/3619">https://www.jinnaika.com/archives/3619</a> ご参照下さい。